

○揮発性有機化合物(VOC)大気排出量削減の自主行動計画

産業界では、2006年の改正大気汚染防止法を機に、光化学オキシダントの原因の一つとされる揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制について自主的取組みに努めてきました。

2000年度を基準に2010年度に30%削減を目標とした自主的取組みは、積極的な回収処理設備の投資や代替物質の切替え等により、最終目標を達成している状況にあります。

2006年に施行された改正大気汚染防止法は、施行後5年経過する2011年度に見直しの検討を行うことが規定されていますが、政府はこれまでの全国の排出量の低減傾向から、新たな削減のための数値目標は設定しないが、法規制と自主的取組みを組み合わせた現行のVOC排出抑制制度を引き続き継続するとしています。

VOC取扱量・大気排出量・排出量の推移

